

## 2013年1月8日開催 第574回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 佐藤卓己委員  
佐藤友美子委員 東野博昭委員 若菜英晴委員

### ■ 毎日放送出席者

松島専務、豊田取締役、河村取締役、梅本取締役、東取締役  
立野コンプライアンス室長、浦川東京制作室長、中野プロデューサー

### ◆ 審議事項

テレビ番組「爆笑学園ナセバナール！」(12月11日(火)19:56~20:54)放送  
について意見を交換した。

### 各委員の主な意見は次の通り。

- \* リポートものだけに、長い間やっていると、視聴率は少しずつ伸びてくると思  
うが、本来の意図を今一度押える必要がある。
- \* 結構タレントを使っている割にはタレントが使えてないんじゃないか。爆笑問  
題という名前を借りているけど、中身は全然爆笑問題的じゃない。
- \* 最近どう生きたらいいかわからない、夢がはっきりしない人も増えていると思  
う。そういう人の共感できる番組が必要。
- \* 美ママの紹介コーナーは、あえて優劣をつけなくてもよかったんじゃないか。  
特に人を傷つける表現には、視聴者も敏感で、そのところを気をつけても  
らいたい。
- \* テレビ番組をオーディエンスの視線に合わせていけば、自ずとそれは下層化し  
ていく、視線を引き上げるようなある種の工夫が必要。どういう層の高校生  
に見せたいのかということを考えていただきたい。
- \* 大人の価値観をそのまま受け入れているみたいなのがちょっともどかし  
い。若者が持つべき既成の価値観に対する疑問みたいなもの、若者にはそう  
いうメッセージも発信してほしい。

- \* 頑張っている若者を応援するコンセプトには、すごく好感を持つ。どこに目線を合わせるかというのが、気になる。いろいろ試行錯誤されているが、今は残念ながら、裏目に出ている。
- \* 見終わった時に清々しさとか爽快感とか、見た人たちが「見てよかったね」「きょうの番組よかったね」と自然と声上がるような、そういうことを忘れずにつくっていただきたい。

以上